



設立総会で挨拶に立つ荒田新町区長

# 自主防災組織の発足

## 区民のかけがえのない命と 貴重な財産を守ろう

新町区では、住民の隣保協働の精神に基づき、新町区内活動の一環として自主防災活動を行うことにより、地震、洪水、火事、その他の災害による被害の防止、及び低減を図ることを目的とした「新町防災会」を本年10月に設立しました。

新町防災会は、会長（区長）、防災部長（区長代理）、防災副部長（土木）、評議員、峰山第5分団長、各班長の本部からなり、消防班、初期消火班、情報班、救出救護・給食給水班、避難誘導班、水利班の総勢約80名もの組織になります。発足と同時に、防災資機材の購入計画を提出し、納入された資機材は、新町公民館横の防災倉庫へ大切に保管されています。



世帯数 281 人口 803 人（平成24年10月30日現在）

# 暮らしたの共存を目指す 古くからの町並みと 新しい郊外型の

峰山町新町区は、峰山町の南部、大宮町との境界に位置します。東西に長く伸びており、全体の四分の三は山林や田畑が占めています。そして、西側にはバイパスに沿って建設された郊外型の大型商業施設をはじめとした新しい「まち」が広がっています。そして、古くからの「まち」は少し東側の旧道沿いにあります。京丹后市、とりわけ峰山町の中でも勢いを落とすことなく順調に発展している地区で、バイパス沿いには競い合うように新店舗ができていきます。このことから、新町区は峰山町の中核を担っているといっても過言ではありません。車で買い物に訪れる郊外型の典型として、常に賑わいを見せる新町区です。

# ふるさと わがまち わが地域

## 峰山町新町区

# ため池の生き物調査 & 外来種絶滅大作戦



プールにはたくさんの魚が・・・



開会式で注意事項の説明を受ける参加者



大きなブラックバスがいました



お父さんへのお土産にする～っ

11月18日、区内のため池の水を抜いて、生き物調査と外来種絶滅大作戦を行いました。当日は、朝から子どもたちがたくさん詰めかけ、手に網を握り締めて水路に流れ出る魚や、ため池で暮らしている生物を待ち受けました。

その頃、ため池では大人たちが、泥に埋もれている魚を網で捕まえて下流に流したり、すくった魚を入れておくプールに水を張ったり大忙しです。およそ一時間で作戦は終了。

## ここに戦争が残っていた



戦後67年が経過しますが、未だに原型をとどめている格納庫。体育館のような建物です。

## みんなの力で後世へ語り継ぎましょう

新町から大宮町河辺にかけて、第二次世界大戦当時に建設された、『峯山海軍航空隊基地』飛行場施設の一部が、今なお残されています。ここで厳しい訓練を終えた訓練生たちは、特攻隊や戦地などへ出兵し、若い尊い命が失われました。また、訓練中にもたくさんの命が失われたそうです。空襲痕の残るこの施設は是非保存して平和教育に役立てて欲しいものです。新町公民館にもこの施設が使われていた「錨」マーク入りのマンホールの蓋が玄関横に保存されています。

## 峯山海軍航空隊基地



銃弾痕が生々しく残る火薬庫